

科目名称：	保育内容「表現A」の指導法	
担当者名：	森田 ゆかり	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	1
授業の目的・テーマ		
1. 領域「表現」のねらい及び内容を理解する。 2. 指導案の構造を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。 3. 実践の振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。 4. 領域「表現」の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。		
授業の達成目標・到達目標		
1. 造形活動を通してこども一人一人の発達や思いを読みとれることを理解し、こども理解を深める。 2. 保育内容の各領域を総合的に捉え、表現活動を中心に乳幼児の実態に応じた保育内容の展開や指導法を学ぶ。 3. 素材や遊びとの出会い（造形遊び）を重ね、総合的な表現活動を構想、計画、指導、実践する力を身に付ける。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身につけている。	
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	
DP(3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身につけている。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)			80	20	100
幼児教育DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》アートスクール講師（2歳児～小学生の絵画・造形指導）	《経験年数1》2年6か月
	《内容2》アートディレクター（こども対象のワークショップなど企画・実践）	《経験年数2》4年10か月
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 領域「表現」のねらい及び内容、小学校の「教科」等とのつながり 素材・遊びとの出会い① フロッタージュ（様々な素材で凹凸を写し取る）	シラバスを精読しておく。	20分
第2回 造形活動の指導① フロッタージュ遊びの紙を活かす	第1回の授業内容より領域「表現」のねらい及び内容について復習。	20分
第3回 造形活動の指導② 和紙染め（染み込む、混ざる、にじむ）	第1回、第2回授業での体験からの気づきを復習。	20分
第4回 保育の改善 絵を「見る」とは？ 「思いを伝える見せ方」を考える 《ファイルの整理》	前期「幼児と表現A」第10回のワークシートを読み返しておく。	20分
第5回 素材・遊びとの出会い② 光と影で遊ぶ（電子黒板使用）	第1回の授業内容より領域「表現」のねらい及び内容について復習。	20分
第6回 素材・遊びとの出会い③ 小麦粉粘土をつくって遊ぶ（グループワーク）	「造形遊び」と「造形表現」の関係について復習。	20分
第7回 造形活動の指導③ 紙で遊ぶ（紙の基礎知識・紙の動きから遊びを考える）	課題「紙に関する調べ学習」。	30分
第8回 指導案1「指導案」を書く（3歳児 小麦粉粘土） 《ファイルの整理》	指導案に関して「実習指導A」などで学んだ内容を復習。	20分
第9回 指導案2「指導案」を書く（3歳児 小麦粉粘土）	第8回の授業内容（指導案1）を復習。	20分
第10回 造形活動の指導④ 初めてのはさみと糊	課題「糊に関する調べ学習」。	30分
第11回 指導案3 添削指導 《ファイルの整理》	第9回の授業で課された「指導案」を指定の提出日までに提出する。	60分
第12回 身近な素材から遊びが生まれる① せんたくばさみ（グループワーク）	第1回の授業内容より領域「表現」のねらい及び内容について復習。	20分
第13回 身近な素材から遊びが生まれる② 新聞紙で遊ぶ（音、造形、身体、言葉の各表現を総合的に捉える）	第12回授業での体験からの気づきを復習。	20分
第14回 造形表現の指導⑤ 体験が指導案につながる スクラッチ	第8, 9, 11回の授業内容（指導案1, 2, 3）を復習。	30分
第15回 第12, 13回授業の振り返り、学びの確認、プロセスの評価（電子黒板使用） 《ファイル提出》	ファイルを整頓しておく。第12回、第13回のワークシートを精読。	30分
事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、上記内容以外に次回までの小レポートをまとめることになる。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。 指導案（50%）、ワークシート（30%）〔毎回配付されるワークシートを授業内で各自作成し提出。ワークシートを綴ったファイルを最終授業で提出。〕、授業への積極的関与（20%）		
課題に対するフィードバック		
毎回作成・提出されるワークシートには全て担当者が目を通し、返却する際、ワークシートの記述内容に即してプリントなどで補足しながら振り返りを行う。		
教科書・参考書		
教科書 「これで安心！保育指導案の書き方」（開仁志編著、北大路書房） 参考書・参考資料等 「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」授業中に適宜資料を配付する。		